



東京2020 第28回理事会 資料

決議事項

理事の選任

資料1-1 チーフ・テクノロジー・イノベーション・オフィサーの選任

会場整備・調達関係

資料1-2 ①仮設電源サービスの契約（43競技会場及び選手村・IBC/MPC）

資料1-3 ②オーバーレイ（伊豆会場）並びに選手村における発注

資料1-4 ③IOC、OMEGA、組織委員会間でのテクノロジー供給契約（Particularised Technology Agreement）の締結



チーフ・テクノロジー・イノベーション・ オフィサーの選任

2018年10月23日

3

チーフ・テクノロジー・イノベーション・オフィサーの選任について

○ 氏名

三木 泰雄 氏

○ 業務内容

・デジタルメディアや最新のテクノロジーを活用したイノベーティブな大会の実現に関すること。

○ 勤務形態

非常勤とする。

2018年10月24日から着任する。

(参考) チーフ・テクノロジー・イノベーション・オフィサーのプロフィール



三木 泰雄(みき やすお) 1955年3月1日生

ヴィエムウェア株式会社代表取締役会長

大阪大学工学部通信工学科卒業後、1977年、日本電気株式会社（NEC）入社。同社プロセス・CPGソリューション事業部長を経て、2005年にヴィエムウェア株式会社代表取締役に就任。2015年より同社代表取締役会長。2018年10月24日、（公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会チーフ・テクノロジー・イノベーション・オフィサーに就任予定。



仮設電源サービスの契約 (43競技会場及び選手村・IBC/MPC)

2018年10月23日

7

1 決議事項

43競技会場及び非競技会場である選手村・IBC/MPCにおいて、大会時に必要な電力を供給するための仮設電源サービスについて、仮設電源供給事業者と契約する。

2 発注概要

会場名	会場数	発注内容	予定契約期間
競技会場 オリンピックスタジアム 他	43会場	仮設電源（必要量は都庁の約24倍相当）	2018年12月～ 2020年12月
非競技会場 ・選手村 ・IBC/MPC	2会場	実施設計から設置、運用、維持管理、撤去・復旧まで一括	

【スケジュール（予定）】

- 実 施 設 計 : 2018年12月～2019年 9月
- 設 置 : 2019年10月～2020年 5月
- 運用、維持管理 : 2020年 6月～2020年 9月
- 撤 去 ・ 復 旧 : 2020年10月～2020年12月



仮設オーバーレイ（伊豆会場）並びに 選手村における発注

2018年10月23日

11

1 決議事項

1 伊豆会場における発注

1. 4つの工事に分けて発注
 - ・ベロドロームの改修工事
 - ・マウンテンバイクコースの造成工事
 - ・プレハブ・テントの設置工事
 - ・レストスタンドの解体工事

2 選手村における発注

1. ビレッジプラザ整備工事
2. 選手利便施設（商業棟）の整備工事
 - （1）躯体関連工事
 - （2）内装工事

2 発注概要

1 伊豆会場における発注

NO	施設名	工種	発注内容 (全て一般競争入札)	公表 時期
1	伊豆ベロドローム他	建築	座席増席工事 (1,800席→3,600席) 照明・空調他の仮設オーバーレイ工事	2018年 10月下旬
2	伊豆マウンテンバイクコース	土木	コースの造成 (4km～) 及び復旧工事	
3	プレハブ・テント	リース	プレハブ・テント設置工事	
4	レストスタンド	解体	既存建築物解体工事	

【スケジュール (予定)】

○伊豆ベロドローム他	・建築 (復旧込) 工事	: 2019年 1月～2021年 2月
○伊豆マウンテンバイクコース	・土木 (復旧込) 工事	: 2019年 1月～2020年 11月
○プレハブ・テント	・リース工事	: 2019年 1月～2020年 12月
○レストスタンド	・解体工事	: 2019年 1月～2019年 9月

2 発注概要

2 選手村における発注

NO	施設名	契約数等	発注内容	公表時期	
1	ビレッジプラザ	1件	一般競争入札 新築工事及び解体工事の発注 木造 平屋建て 延べ5,500㎡	1 1月上旬	
2	選手利便施設 (商業棟)	2件	躯体関連工事	特別契約 新設工事及び撤去工事の発注 鉄骨造(一部鉄筋コンクリート造) 3階建て 延べ19,600㎡	—
			内装工事	一般競争入札 新設工事の発注	1 1月上旬

【スケジュール (予定)】

○ビレッジプラザ	・新築工事	: 2018年12月～2020年 4月
	・解体工事	: 2020年 9月～2021年 3月
○選手利便施設 (商業棟)	・躯体関連工事	: 2018年11月～2019年12月
	・内装工事	: 2021年 1月～2021年 6月



IOC, OMEGA, 組織委員会間での テクノロジー供給契約 (Particularised Technology Agreement) の締結

2018年10月23日

15

1. 決議事項

東京2020大会において、組織委員会が各ステークホルダーに対して計時及びスコアリング(Timing & Scoring)、会場内での結果配信(On-Venue Results)等のサービスを提供するために、当該カテゴリのTOPパートナーであるOMEGA及びIOCとの間でテクノロジー供給契約(Particularised Technology Agreement. 以降「PTA」)を締結することについて承認を頂きたい。

2. PTAとは

・IOCと組織委員会間の契約(*1)及びIOCとOMEGA間の契約(*2)に基づき、IOC・OMEGA・組織委員会の三者間にてリザルトサービス提供に関する権利義務関係及び条件の詳細を定めるもの。

・PTAの記載条件は、上記の上位契約にて既に合意済みであり、原則として修正できない。また、過去大会からの経緯・内容を引き継いでいる。東京2020大会に向けた修正も反映済みである。

*1 Marketing Plan Agreement：マーケティングの構造を明確にするため、組織委員会とIOCが締結している契約。TOPパートナーの製品・サービスカテゴリにおける独占性を担保するために、組織委員会は、製品及びサービス供給権（組織委員会に対する現物支給、調達優先、入札参加）のほか、東京都、政府等が行う2020年大会に関連した発注機会（入札等）に参加させるよう働きかけ、TOPパートナーの供給権が全面的に保護・尊重されるよう図ることが定められている。

*2 Master Agreement：IOCとSWATCHグループの間で、SWATCHグループが2004年アテネ大会から2020年東京大会まで、Time & ScoringとOn-Venue ResultsのカテゴリでのITシステムとサービスを提供できることを定めた二者間の合意。OMEGAの親会社であるSWATCHグループが、トップパートナーとしてそのカテゴリでのソリューションを提供することが合意されている。

3. 実施内容

PTAに基づきOMEGAから提供されるサービスは、テストイベントから大会本番における下記4つのシステムとその付随サービス、ならびに統合サービスである。

1. 計時及びスコアリング (Time & Scoring (T&S))

T&S
(計時カメラ、フォトフィニッシュなど)



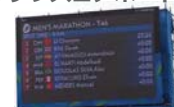
2. 会場内結果配信 (On-Venue-Result (OVR))

OVR



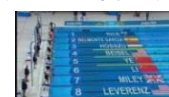
3. パブリックスコアボード (Public Scoreboards)

パブリックスコアボード



4. バーチャルグラフィックス (Virtual Graphics)

バーチャルグラフィックス



5. 1～4に係る統合サービス (Integration)

4. 実施内容（関連システムの全体像）



* ページ内 図・写真はIOC資料より転載

5. 契約先、関係ステークホルダー、契約期間

□ 契約先

IOC, OMEGA

□ 関係ステークホルダー

IPC, Atos, Panasonic（Video Boardサプライヤー）

□ 契約期間

契約締結から2020年12月（大会終了後3か月）まで



東京2020 第28回理事会 資料

報告事項

- 資料2-1 大会ボランティアについて
- 資料2-2 メダルプロジェクトについて
- 資料2-3 コアグラフィックスの発表
- 資料2-4 競技会場の大会時名称の正式決定
- 資料2-5 パラリンピック競技日程（セッションスケジュール）
- 資料2-6 IOC総会・理事会等について



大会ボランティアについて

1. 大会ボランティア応募状況

10月22日(月) 10時時点

応募完了者数：52,249名

(大会ボランティアマイページ登録者数：92,920名)

- 女性が約6割を占める
- 幅広い世代からの応募
(10～30代で約6割を占める)
- 応募締切は12月を予定

2. ネーミング決定プロセス

ネーミング の目的

- 大会スタッフ及び、都市ボランティア全体における一体感の醸成
- 大会スタッフ及び、都市ボランティアへの期待値の共有

ロンドンの例：

大会ボランティア（およびスタッフ）⇒ ゲームズメーカー
都市ボランティア ⇒ ロンドンアンバサダー

選考委員会 の設置

正式名称：東京2020大会スタッフ及び都市ボランティアにおける
ネーミング選考委員会

設置目的：東京2020大会の大会スタッフ及び都市ボランティアの
ネーミングを決定する為、専門的観点から助言等を行い、
選考する

スケジュール

- 複数回の選考委員会を開催し、ネーミング案の絞込みと選考を実施
- 選考委員会で選考された案を商標調査、及び商標登録を実施し公表
- ボランティア応募者による投票により決定

3. ネーミング選考委員会について

(座長 以下50音順 敬称略)

氏名	所属等
(座長) 清家 篤	日本私立学校振興・共済事業団理事長 慶應義塾学事顧問
厚切りジェイソン	株式会社 ワタナベエンターテイメント/IT企業役員/お笑い芸人
太田 洋	西村あさひ法律事務所パートナー
小澤 直	日本財団ボランティアサポートセンター常務理事
粕谷 賢之	日本テレビ放送網株式会社取締役執行役員
金山 淳吾	EVERY DAY IS THE DAY クリエイティブディレクター/ソーシャルイノベーション・カタリスト
河合 純一	パラリンピアン(水泳)/東京2020組織委員会アスリート委員会副委員長
佐々木 宏	クリエイティブディレクター
SHELLY	株式会社 スターダストプロモーションタレント 東京2020組織委員会文化・教育委員会委員
田中 里沙	事業構想大学院大学学長/宣伝会議取締役メディア・情報統括
田淵 久美子	脚本家/作家
中島 光	笹川スポーツ財団常務理事
夏野 剛	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特別招聘教授 東京2020組織委員会メディア委員会委員
西尾 昇治	東京商工会議所常務理事
西川 千春	オリンピックボランティア経験者
二宮 雅也	文教大学人間科学部人間科学科准教授
萩原 智子	オリンピック(水泳)/東京2020組織委員会アスリート委員会委員
マリ クリスティーナ	異文化コミュニケーター/東京女子大学教授/東京の観光振興を考える有識者会議委員 /東京2020組織委員会街づくり・持続可能性委員会委員
山田 敦郎	グラムコ株式会社代表取締役社長/東京ブランドのあり方検討会委員
山田 道子	毎日新聞紙面審査委員
山本 悦子	一般財団法人東京マラソン財団ボランティアセンター長
劉 黎兒	ジャーナリスト/東京ブランドのあり方検討会委員



資料 2 - 2

メダルプロジェクトについて

1 メダルプロジェクトの進捗 ～金、銀、銅の準備状況～

(1) 納入量及び達成状況

今回の納入量*1		達成率	最終的な納入量*2 (目標)
金	16.5 キロ	54.5%	30.3 キロ
銀	1,800 キロ	43.9%	4,100 キロ
銅	2,700 キロ	100.0%	2,700 キロ

*1 プロジェクト開始から本年6月までの回収分

*2 製造上の必要量とは異なる

(2) プロジェクトの状況 (エンゲージメント) 及び今後の見込み

- ・ 本年6月にパートナーへ協力を呼びかけ多数の申し出を頂き、その他企業・団体からも協力を得ている。環境省との連携によりパートナーの販売拠点やイベントなど**11,000か所以上**に回収ボックスを設置し、全国にて**1,520自治体**がプロジェクトに参加(18年9月時点)
- ・ 一方、東京都では、**都庁舎**に加え、**13の都営地下鉄主要駅**や**21の都立文化・体育施設等**において回収ボックスを設置
- ・ 内閣官房・環境省の連携による呼びかけに対して、**39のホストタウン自治体**から参加申し込みを受け、順次、**約2,000の教育機関**に回収ボックスを設置しているところ
- ・ また、政府では、本年6月より各省庁で回収ボックスをリレーする取組を実施。最終納入に向け、関係各社・団体等の協力の下、引き続きプロジェクトを推進し、目標達成する見込み

2 メダルデザインの開発

(1) メダルデザインコンペティションの経過

2017年12月中旬 「入賞メダルデザインコンペティション」を実施

(デザイナー及びデザインを専攻する学生を対象)

2018年4月 平面デザインによる審査【200作品以上→3作品】

7月 オリンピックメダルデザインの立体審査の実施【3作品→1作品】

9月 パラリンピックメダルデザインの立体審査の実施【3作品→1作品】

(2) 今後のスケジュール

11月下旬IOC理事会でIOC、12月上旬IOC調整委員会会議時にIPCの承認を得る予定

3 メダル関連物品 (入賞メダルリボン・入賞メダルケース・表彰状) の開発

(1) 選定方法

プロポーザル方式(仕様を公表し、広く応募)

(2) 今後のスケジュール

9月下旬 エントリー受付

10月下旬 事前審査「分科会」で3事業者程度に絞り込み

11月初旬 本審査「メダルデザイン審査会」により1事業者に決定

11月下旬IOC理事会でIOC、12月上旬IOC調整委員会会議時にIPCの承認を得る予定



コアグラフィックスの発表

2018年10月23日

8

- ◆ コアグラフィックスとは
コアグラフィックスは、会場装飾、都市装飾以外にも、競技備品やチケット等広く展開されます。
このデザインは、大会を印象付け、競技映像や開催都市の景色とともに多くの人々の記憶に残ります。

Tokyo2020コアグラフィックス



Tokyo2020横型装飾バナー 展開例



Tokyo2020縦型装飾バナー 展開例



- ◆ 今後のスケジュール
コアグラフィックスを展開させたデザインの装飾等は、2019年春頃実装を行う予定です。
また、あわせて東京2020公式ライセンス商品の販売も展開していきます。



競技会場の大会時名称の正式決定

2018年10月23日

10

報告事項

競技会場の大会時に使用する名称について、
I O Cの承認が得られ、
別紙のとおり決定したので報告する。

No	競技会場の大衆名	競技 (オリンピック)	競技 (パラリンピック)
1	オリンピックスタジアム	開会式・閉会式、陸上競技、サッカー	開会式・閉会式、陸上競技
2	東京体育館	卓球	卓球
3	Tokyo Metropolitan Gymnasium	ハンドボール	ハンドボール、バレーボール
4	日本武道館	柔道、空手	柔道
5	皇居外苑	陸上競技 (散歩)	陸上競技
6	東京国際フォーラム	ウェイトリフティング	ウェイトリフティング
7	国立競技場	ボクシング	ボクシング
8	馬場公園	乗馬 (乗馬開始、総合開始、乗馬開始)	乗馬
9	Musashino Forest Sports Plaza	バドミントン、近代五種 (フェンシング)	バドミントン、近代五種 (フェンシング)
10	東京スタジアム	サッカー、ラグビー、団体会球 (水球、フェンシング)、野球、レーシング (自転車)	サッカー、ラグビー、団体会球 (水球、フェンシング)、野球、レーシング (自転車)
11	武蔵野の森公園	自転車競技 (ロードロードロードロードロードロード)	自転車競技 (ロードロードロードロードロードロード)
12	有明アリーナ	バレーボール (バレーボール)	バレーボール (バレーボール)
13	有明アリーナ	体操	体操
14	有明アリーナ	自転車競技 (BMXフリースタイル、BMXレーシング)、スケートボード	自転車競技 (BMXフリースタイル、BMXレーシング)、スケートボード
15	有明アリーナ	テニス	テニス
16	有明アリーナ	水球 (水球)	水球 (水球)
17	有明アリーナ	バレーボール (バレーボール)	バレーボール (バレーボール)
18	有明アリーナ	バスケットボール (3x3)、スポーツクライミング	バスケットボール (3x3)、スポーツクライミング
19	有明アリーナ	サッカー	サッカー
20	有明アリーナ	射撃 (総合開始 (クロスカントリ))	射撃 (総合開始 (クロスカントリ))
21	有明アリーナ	カヌー (スラロム)、ボート	カヌー (スラロム)、ボート
22	有明アリーナ	カヌー (スラロム)	カヌー (スラロム)
23	有明アリーナ	アーチェリー	アーチェリー
24	有明アリーナ	水球 (水球)	水球 (水球)
25	有明アリーナ	水球 (水球)	水球 (水球)
26	有明アリーナ	テニス (ダブル、トリプル)	テニス (ダブル、トリプル)
27	有明アリーナ	フェンシング	フェンシング
28	有明アリーナ	サッカー	サッカー
29	有明アリーナ	バスケットボール (バスケットボール)	バスケットボール (バスケットボール)
30	有明アリーナ	射撃	射撃
31	有明アリーナ	ゴルフ	ゴルフ
32	有明アリーナ	セーリング	セーリング
33	有明アリーナ	自転車競技 (トラック)	自転車競技 (トラック)
34	有明アリーナ	自転車競技 (マウンテンバイク)	自転車競技 (マウンテンバイク)
35	有明アリーナ	自転車競技 (ロードロードロードロード)	自転車競技 (ロードロードロードロード)
36	有明アリーナ	自転車競技 (ロードロードロードロード)	自転車競技 (ロードロードロードロード)
37	有明アリーナ	野球 (ソフトボール)	野球 (ソフトボール)
38	有明アリーナ	野球 (ソフトボール)	野球 (ソフトボール)
39	有明アリーナ	サッカー	サッカー
40	有明アリーナ	サッカー	サッカー
41	有明アリーナ	サッカー	サッカー
42	有明アリーナ	サッカー	サッカー
43	有明アリーナ	サッカー	サッカー
44	有明アリーナ	サッカー	サッカー



資料 2 - 5

パラリンピック競技日程 (セッションスケジュール)

パラリンピックセッションスケジュールの特徴

- ・22競技540種目が1都3県（東京、埼玉、千葉、静岡）の21会場で実施。
- ・史上最多4,400人（選手数の枠数）の選手による白熱した戦いが、12日間に渡り繰り広げられる。
- ・大会期間を通じた盛り上がり：バランス良く人気競技を配置。
- ・家族連れをはじめとした幅広い層に競技会場へ観に来ていただきやすい時間設定。
- ・アスリートファースト：暑さへの配慮（マラソン、トライアスロンを早朝実施など）。

パラリンピックセッションスケジュールの構成

○大会序盤（Day1-Day4）

Day 1：午前9時からゴールボール、水泳、卓球、車いすバスケットボール、車いすフェンシングの5競技がスタートし、次いで開始の自転車（トラック）、ウィルチェアラグビーと合わせ、初日は7競技が3都県（東京、千葉、静岡）で実施。

Day 4：ボッチャが開始。障がいの程度が重いアスリートの参加機会を増やすというIPCの方針に沿って、リオ大会より8人増の116名が参加。

Day 4-5：パラリンピック実施2大会目のトライアスロンが、お台場海浜公園を中心とした、「大会史上最も都会的なコース」で開催。

○大会中盤（Day5-Day8）

Day 3-10：陸上競技（トラック&フィールド）が新国立競技場（オリンピックスタジアム）で実施。

Day 5：大会最初の週末にウィルチェアラグビーの決勝。リオ大会では後半に実施していたが、東京大会では、後半に偏りがちな団体競技の決勝を中盤に設置。大会中盤から終盤に向けた熱気を高める。

Day 7-10：自転車競技（ロード）が開始。富士山を間近に望む、富士スピードウェイをスタート、ゴールとし、各種目とも富士山麓の起伏を活かしたコース設定。

パラリンピックセッションスケジュールの構成

○大会終盤（Day9-Day12）

Day 8-12：東京大会から新たに採用されたバドミントン（Day8-12）とテコンドー（Day9-11）が大会終盤を盛り上げる。

Day10-11：車いすテニスは、Day10-11にかけて男女決勝を実施。

Day11-12：車いすバスケットボールは、Day11に女子決勝、Day12男子決勝が実施。パラリンピック競技の中でも世界的に人気・普及度ともに高い競技の一つであり、東京1964パラリンピックでも正式競技として採用されている。

Day 12：大会閉幕日に男女マラソンを実施。「レーサー」と呼ばれる競技用車いすの40キロを超えるスピード、ブラインドランナーとガイドランナーの息の合った走りを見せる。

その他

- ・セッションスケジュールの決定により、大会運営計画のさらなる具体化が可能になり、大会準備がより一層加速。
- ・今後は2019年夏のチケット販売開始に向けてイベントスケジュールを策定。
- ・大会本番に向けたセッションスケジュール更新の可能性有。



IOC総会・理事会等について

- ・第9回IOCプロジェクトレビュー
- ・IOC理事会・総会
- ・第6回IPCプロジェクトレビュー

2018年10月23日

16

(1) 第9回IOCプロジェクトレビューの概要

- 1 開催日 2018年9月11日（火）、12日（水）
- 2 場 所 虎ノ門オフィス
- 3 出席者

IOC側 コーツIOC調整委員会委員長、ギラディ同副委員長、
デュビエグゼクティブディレクター ほか

東京側 森会長、遠藤会長代行、
河野副会長、竹田副会長、猪熊副会長、
武藤事務総長、
各副事務総長、
東京都、政府、JOC、JPC ほか



(1) 第9回IOCプロジェクトレビューの概要 (続き)

4 内容 従来の進捗プレゼンに代えて、課題・ 이슈に議論をフォーカス

<9月11日 (火) >

○オープニング

○フォーカスグループセッション

テクノロジー／輸送／天候対策／スポーツプレゼン、水質、自転車ロードレース
テストイベント、消波装置／アーバンクラスター&サーフィンフェスティバル
選手村／アクション&レガシープラン／会場／大会関係者の在留許可と
ビザ手続／ライブサイト戦略／デジタルメディア・コミュニケーション戦略

<9月12日 (水) >

○フォーカスグループセッション

仮設厨房の設置／持続可能性コミュニケーション／チケットティング／
観客用宿泊施設／会場 (埼玉)

○ラップアップ&クロージング

コーチ委員長からのコメント (要旨)

- ・ 引き続き非常に大きな進捗が報告され、生産的な二日間であった。
- ・ 今回は、課題 (イシュー) ごとに議論が行われ、よい助言、指針を提供することができたと思っている。
- ・ 11月には国内オリンピック委員会連合 (ANOC) の会合で、各国・地域のオリンピック委員会の代表が日本に集まるので、意見交換を行う機会にも恵まれるであろう。



(2) IOC理事会・総会（東京2020進捗報告）

1 日時

理事会：2018年10月4日（木）

総会：2018年10月8日（月）

2 場所

理事会：テレビ会議形式にて東京から実施

総会：ブエノスアイレス

3 出席者

理事会

IOC側 バッハ会長、コーツIOC調整委員会委員長、IOC理事

東京側 森会長、武藤事務総長、河野副会長、中村GDO、室伏SD

総会

IOC側 バッハ会長、コーツIOC調整委員会委員長、IOC理事

東京側 武藤事務総長、竹田副会長/IOC委員、中村GDO

室伏SD、高谷SP、村里局長

(2) IOC理事会・総会（東京2020進捗報告）（続き）

4 内容 東京大会の進捗についてのプレゼン及び質疑応答 等

(1) 理事会

スポーツ／天候対策／会場／ファイナンス／

顔認証システムの導入／ボランティアの状況 等

(2) 総会

スポーツ／会場／宿泊、輸送、警備／NOCサービス／

ファイナンス／サステナビリティ／コミュニケーション&エンゲージメント

マーケティング／聖火リレー／開閉会式

(3) 第6回IPCプロジェクトレビューの概要

1 開催日 2018年10月18日(木)、19日(金)

2 場所 虎ノ門オフィス

3 出席者

IPC側 ハビエル・ゴンザレス IPC CEO、
タノス・コストポウロス IPC パラリンピック大会統合ディレクター
ほか

東京側 武藤事務総長、山脇副会長、
各副事務総長、
東京都、政府、JOC、JPC
ほか



(3) 第6回IPCプロジェクトレビューの概要(続き)

4 内容 東京大会の進捗についてのプレゼン及び質疑応答 等

<10月18日(木)>

○オープニング全体会議

人材管理/会場/輸送/東京都からの報告

<10月19日(金)>

○クロージング

ラップアップ

※この他、各種サイドミーティングを実施

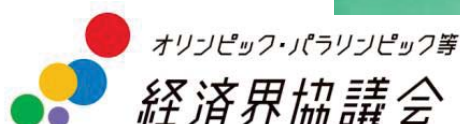
ゴンザレスCEOからのコメント（要旨）

- 全体として今日までの進捗には満足している。
- 東京大会を契機として、アクセシブルな輸送、宿泊という2つの重要な問題を解決することで、共生社会を作ることができるであろう。
- 東京2020のチームに対して、継続的な努力に感謝する。



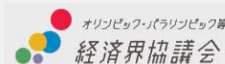
Toward
&
Beyond
2020

オリンピック・パラリンピック等 経済界協議会の活動のご報告



Toward
&
Beyond
2020

オリンピック・パラリンピック等経済界協議会とは



■ 設立日

2015年3月(初回会合)

■ 設立目的：経済界による2020レガシー形成推進

- ・東京オリンピック・パラリンピックおよびラグビーW杯開催等の
ムーブメントを醸成
- ・**経済界が一体**となり、関連機関と連携の元、
子供たちの未来のために**2020レガシー**を残す

■ 活動方針

- ・企業人が、**自ら参画し汗をかいて行動**
企業の様々な**アセット(人・施設・ネットワーク)**を最大活用
- ・スポンサー/非スポンサーの権利等に関わらない、
全国経済界を巻き込んだオールジャパンの活動

レガシー形成

スポーツ

バリアフリー

日本の良さ・地方の魅力

復興五輪

ハードレガシー
(イノベーション)

ムーブメント醸成

ホストタウン

全国298自治体
(2018年8月時点)

〔各国代表選手団の事前合宿受入や、
相手国と各種相互交流を図る自治体〕

2020年
東京大会
開催都市

東京、札幌、宮城、福島、茨城、
埼玉、千葉、横浜、江の島 等

ラグビーW杯
開催都市

札幌、釜石、熊谷、東京、
横浜、浜松、豊田、東大阪、
神戸、福岡、熊本、大分

JAPAN市
(物産展)
開催都市

札幌、仙台、名古屋、
東京、大阪、広島、福岡

地域に根差し、「ワンチーム」で地元を支える経済界づくり

各地域で、地元の中小企業、大手企業の支社支店までが一つになり、
『地域の課題は、地域で解決』を可能にする、頼れる「ワンチーム経済界」を全国に確立

約100社 従業員約150万人

オリンピック・パラリンピック等経済界協議会

最高顧問

御手洗 経団連名誉会長
岡村 日商・東商名誉会頭

経団連会員企業

- 企業 約1,350社
- 団体 約160団体

常任顧問

中西 経団連会長
三村 日商・東商会頭
小林 経済同友会代表幹事

日商・東商会員企業

- 全国 515会議所
- 会員 約125万社

会長

豊田 経団連刊・パ等委員長

委員
(88名)

経団連副会長
日商・東商副会頭
経済同友会副代表幹事
主要スポンサー企業役員等

経済同友会会員所属企業

- 会員 約1,400人

連携  協力

政府

東京都

地方自治体

組織委員会

スポーツ団体

■ 全国ホストタウン向けムーブメント・機運醸成 【活動規模の拡大】

- ・活動回数：**461件**（ほぼ毎日活動）
 連携自治体：**188自治体**
 連携企業数：**340社**
- ・ホストタウンコンタクト率：**約97%** <288/298自治体>

■ レガシー形成活動・地域経済界との連携強化 【活動の質的向上】

- ・**約6,000名以上**の企業人ボランティアが、各活動で積極的に活躍
- ・主要各都市のメガプログラム等の開催を通じて、各地域経済界・地元企業のチームビルドが進展

■ 科学技術・イノベーション分野の活動の推進 【ハードレガシー活動】

- ・ カウントダウンショーケース（企業合同展示会：東京2回、大阪1回）
5,200名以上の来訪者
 <3.11被災地の小学生の招待、30か国以上の大使館の大使・関係者等も来訪>

5

All Japan Business Committee. All Rights Reserved.

テーマ：「スポーツ・パラスポーツ」

すべての人が、スポーツを楽しむことができる文化と機会をつくる

誰もが、年齢や障がい等の制約をうけることなく、
いつでもスポーツに触れられ、楽しさや夢を抱き続けられる社会

アスリート/パラアスリート派遣



パラスポーツ観戦応援



パラスポーツ体験会



企業対抗パラスポーツ大会



6

All Japan Business Committee. All Rights Reserved.

<プログラムのねらい・ポイント>

障がい者と健常者がスポーツを通して交わることで、真の共生社会の実現を目指すプログラム。企業人自身が、競技の楽しさ・奥深さを体感し、パラスポーツ盛り上げにつなげる。

【ポイント】

- 会場（企業所有施設）・運営（各社ボランティア）ともに、**企業アセットを最大活用**
- 社内予選会などを通じて、各社内のオリパラ盛り上げにも活用
- 業界の枠を越えた**企業間交流・チームビルディング**が可能
- 今後、地方主要都市でも順次開催し、**地域経済界のオリパラ参画機会につなげる**

Office de Boccia in 名古屋

6月 SMBCパーク栄ほか
72社／約1,000名



Office de Boccia in FUKUOKA

6月 野村證券福岡支店
51社／約300名



Office de Boccia in 東京

9月 東京スカイツリー
88社／約800名



7

All Japan Business Committee. All Rights Reserved.

テーマ：「バリアフリー」

誰もが、バリアを感じない社会をつくる

障がい者や高齢者、外国人などが、
物理的・心理的にいかなるバリアも感じることなく参加できる社会

異文化教室



バリアフリーマップ作成支援



心のバリアフリー教育



8

All Japan Business Committee. All Rights Reserved.

<プログラムのねらい・ポイント>

障がいの有無や年齢などに関係なく、誰もがバリアを感じない社会の実現を目指すプログラム。街中での危険や制約を把握・情報発信する活動を推進し、誰もが不自由なく生活できる街へ。

【ポイント】

- 作成したバリアフリーマップは、必要な方への提供に加え、**健常者を含め広く展開**
⇒ **心のバリアフリーとサポートの輪の拡大へ**
- 今後、オリパラ開催都市に加え、**全国主要都市／ラグビーW杯開催都市等で活動展開**
- 業界の枠を越えて、**普段関わりのない企業が協力・交流しながら活動**

都内での活動



名古屋での活動



平成30年度の情報化促進貢献企業等表彰
(国土交通大臣賞) を受賞



平成30年10月



9

All Japan Business Committee. All Rights Reserved.

日本の魅力を発信し、全国の賑わいをつくる

多くの外国人や日本人自らが、伝統文化や風習をはじめとする日本の魅力を知り、インバウンドや交流人口が広がっている社会

競技会場の美化活動



企業合同物産展



文化プログラム支援



10

All Japan Business Committee. All Rights Reserved.

＜プログラムのねらい・ポイント＞

地域の魅力発信を通じ、ヒト・モノ・文化の交流を促し、日本全国の販わい創出を目指す。
日本ならではの伝統文化・風習を発信し、外国人や日本人自らがその魅力に触れる機会を創る。

【ポイント】

- 会場（企業所有施設）・運営（各社ボランティア）ともに、企業アセットを最大活用
- 復興五輪・伝統文化など、幅広いテーマが発信可能なプラットフォーム
- 業界の枠を越えた企業間交流・チームビルディングが可能
- 今後、大阪ほか各地で順次開催し、地域経済界のオリパラ参画機会につなげる

福岡 JAPAN市
('17/10 50社/360名)



大手町・丸の内 JAPAN市
('17/11 30社/100名)



広島 JAPAN市
('18/4 40社/360名)



札幌 JAPAN市
('18/7 40社/200名)



11

All Japan Business Committee. All Rights Reserved.

東北発で、日本の未来を牽引する次世代育成モデルをつくる

被災地域および地元の次世代人材が、
産業復興の中心となり、強い日本や地方を牽引している社会

小中学校へのお出前授業



ハードレガシープログラムとの連携



中小企業のサポート(講師派遣)



12

All Japan Business Committee. All Rights Reserved.

<プログラムのねらい・ポイント>

2020年の日本で提供される最先端技術を一堂に集め、「空港～街中移動～都市～競技観戦～観光」といった、一連のカスタマージャーニーの流れで、幅広い企業技術を訴求

【ポイント】

- 会場（企業所有施設）、運営（各社ボランティア）ともに、**企業アセットを最大活用**
⇒ 技術展示会場には珍しい**都内中心地（大手町など）**での開催が可能
- 「2020年」という**テーマ性をもった訴求力のある発信**
- **スポンサーに限らず、技術力をもった中小企業も参加可能な受け皿の広いイベント**



都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト



- 主催者：東京2020大会組織委員会
- 事業協力者：NTTドコモ
(財)日本環境衛生センター
環境省
東京都

■ TOKYO2020パートナー企業の回収協力
日本郵便様、東京ガス様、三井住友銀行様 等

■ 小学生向けケータイリサイクル教室

NP 日本郵政グループ **PRESS RELEASE**

TOKYO GAS 2. 3) 社会全体の課題への
地元企業としての取り組み

(1) 株式会社 三井住友銀行

「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」への協力の件

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が実施している「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」(※)に賛同し、当行の使用済み携帯電話（約4千台）を本プロジェクトに提供いたします。

(2)

(3) 今後更に、当行従業員の使用済み携帯についても回収し、本プロジェクトに提供いたします。

当行は、東京2020ゴールドパートナー（銀行）として、持続可能な社会を実現し、レガシーとして残すことにつなげるための取組に、積極的に参画してまいります。



2017年7月～約45校にて実施

ユニバーサルデザイン2020関係閣僚会議*

*2017年2月20日設置 総理以下13名の大臣で構成

心のバリアフリー分科会

国民の意識やそれに基づくコミュニケーション等個人の行動に向けて働きかける取組を検討

街づくり分科会

ICTの利活用を含めた、ユニバーサルデザインの街づくりを推進する取組を検討

ユニバーサルデザイン
2020
行動計画策定

東京2020を契機とした「真の共生社会実現」に向けて設立された「ユニバーサルデザイン2020関係閣僚会議」の分科会に、オリ・パラ等経済界協議会(参画企業の担当役員)が参画



全国各地の法務局や社会福祉協議会等と連携した「子供向け心のバリアフリー教育」では、上川法務大臣より人権擁護功労賞特別賞を受ける

平成29年12月

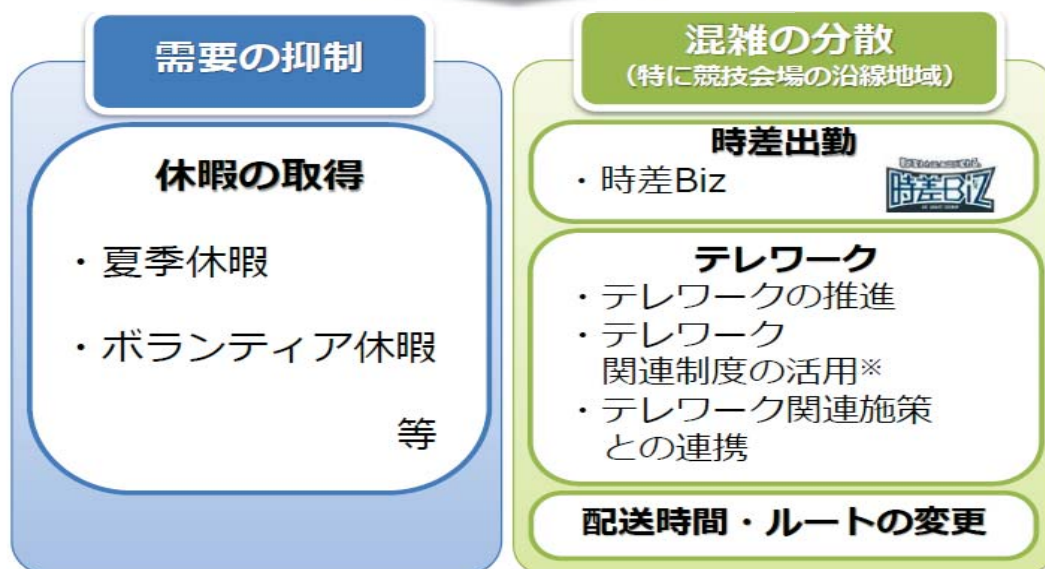
交通輸送円滑化 (TDM) へ向けた取り組み

東京2020大会における課題である交通輸送円滑化 (TDM) へ取り組む

大会時の混雑を想定した準備 「2020版BCPの策定」

2020TDM推進プロジェクトの会議*等へも参加

(*会議事務局：東京都、内閣官房、東京2020組織委員会)

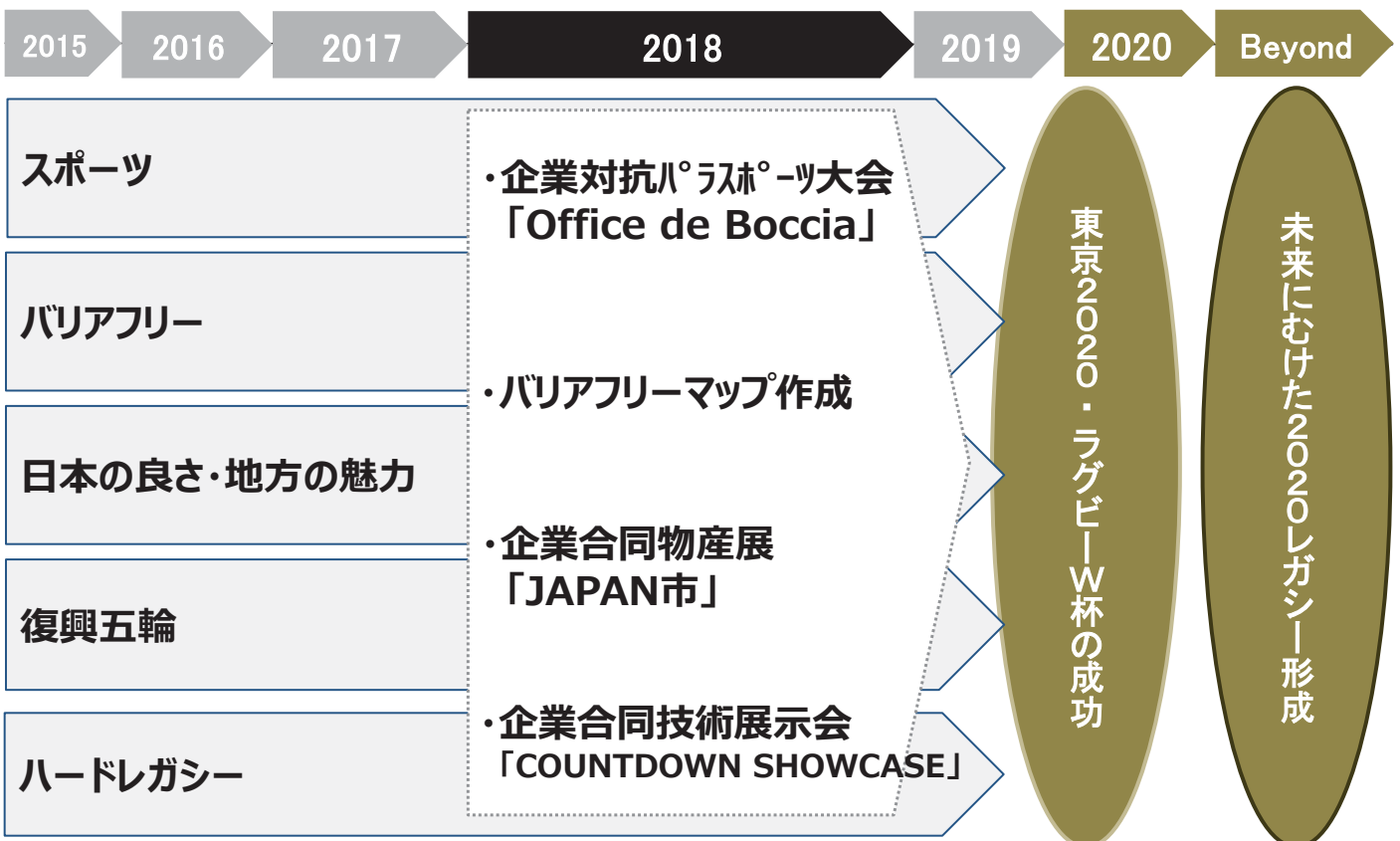


ホストタウン向け (主なプログラム)

	プログラム	活動規模	企業数 (社)
スポーツ/ パラスポーツ	企業アスリート派遣	計 36回/25都市	61
	ハラスポーツ体験会	計 106回/65都市	94
バリアフリー	ハリアフリーマップ作成	計 12都市	72
	心のハリアフリー教室 (※法務省・地方法務局と連携)	計 22回	25
	心のハリアフリー 企業研修導入	—	54
	異文化教室	計 17回/16都市	18
日本の魅力	競技会場美化 「KEEP THE STADIUM CLEAN」	計 21回/16会場	40
	文化プログラム支援	計 9回/7都市	15
復興五輪	東北小中学校 出前授業	計 19校で実施	21
	東北中小事業者育成	計 64回/15都市	28

全国都市向け

メガプログラム	開催都市	企業数 (社)	人数 (名)
企業合同復興物産展 「JAPAN市」 計 300社/1,400名	名古屋 ('16/5)	60	100
	東京 ※3回開催	72	420
	仙台 ('17/8)	40	100
	福岡 ('17/10)	50	360
	広島 ('18/4)	40	230
	札幌 ('18/7)	40	200
企業対抗 ハラスポーツ大会 「Office de Boccia」 計 280社/1,500名	東京 ※2回開催	87	700
	名古屋 ※2回開催	104	1,200
	仙台 ('18/6)	40	250
	福岡 ('18/7)	51	300
企業合同技術展示会 「カウントダウンショーケース」 計 55社/2,800名	東京 ('17/12)	40	2,000
	大阪 ('18/3)	15	800



子どもたちの未来のため、経済界は一つになって、
これからも、2020年とその先にむけた
レガシーづくりの取り組みを進めていく

全国を巻き込んだ協議会活動 Toward&Beyond2020メッセージ (経済界リーダー、企業人ボランティアスタッフ、子どもたちの笑顔)

1. 経済界協議会 主要企業役員による現場訪問企画

2. 全国各地の活動を支える企業人ボランティアスタッフ

		
4/8 NEC 菅沼執行役員 「広島JAPAN市」	トヨタ 豊田社長 (協議会会長) 4/16 「ホツチャ内蔵コーチ訪問」	4/24 SMBC 平尾執行役員 「Office de Boccia in 仙台」
		
4/24 トヨタ 石井常務 「Office de Boccia in 仙台」	6/19 日本生命 藤本取締役常務 「Office de Boccia in 福岡」	6/29 明治 田上取締役専務 「Office de Boccia in 名古屋」
		
6/30 パナソニック 遠山常務執行役員 「関東パラ陸上観戦@町田」	7/19 JXTG 中原取締役 常務執行役員 「車椅子バスケット訪問 @藤沢」	7/24 NTT 栗山取締役 (協議会座長) 「札幌JAPAN市」
		
7/24 野村証券 池田常務 「札幌JAPAN市」	7/24 富士通 阪井常務 「札幌JAPAN市」	7/25 経団連 井上常務理事 「札幌JAPAN市」
		
8/5 アシックス 小林執行役員 「ゴールボール日本代表合宿訪問 @印西市」		




3. 2020年とその先につながる子どもたちの笑顔 (オリパラキッズ)







東京2020 第28回理事会 資料

配布資料

資料4-1 開催都市契約大会運営要件2016年版の締結

資料4-2 パラリンピック2年前カウントダウンイベント

資料4-3 TOPパートナー及び東京2020スポンサー



開催都市契約 大会運営要件2016年版の締結

2018年10月23日

1

開催都市契約 大会運営要件2016年版の締結について

➤ 報告事項

東京2020大会の開催都市契約に付随する義務事項の変更について、IOCと合意する旨を報告するものである。

➤ 開催都市契約 大会運営要件の概要

- 開催都市契約：IOCと、東京都、JOC、組織委員会の間で締結されている各当事者が大会開催に向けて遵守すべき合意書
- 開催都市契約 大会運営要件：大会の計画策定及び運営等に適用される実務上の要件がまとめられた、開催都市契約の一部をなす文書
- IOCは要件を修正する権利を持つが、財政上の義務に重大な悪影響を及ぼす場合は、IOCと協議を行うことが可能（開催都市契約第6条）
- 現在、東京2020大会に適用されているのは、2015年版

➤ 経緯

- 2016年12月 IOCが大会運営要件を改訂、公表（以降、OR2016と表記）
- 2017年10月 IOCより、東京2020大会にOR2016を適用する旨のレターを受領
- 2018年3月 東京側からIOCに回答・調整
- 2018年9月 適用にあたっての一部条項修正についてIOCから合意の意向
（※IPCとの調整は、IOCを通じて実施）

➤ **OR2016適用にあたっての確認・調整事項**

本文565項目及びAnnexを組織委員会内で精査の上、東京都及びJOCとも調整を行い、44項目についてIOCと確認・調整を行った。

- 調整の結果、負担増を受け入れるもの… 1項目
(IF国際技術役員に提供する客室数：6室増)
- 調整の結果、負担増を回避したもの… 1項目
(道案内サインプログラムの提出が明記
既存サインの整備状況も勘案して柔軟に対応することで合意)
- 趣旨を確認、明確化したもの…40項目
- 引き続き協議中のもの… 1件2項目 (TVスタジオの要件)

OR2015適用時に継続調整となったNOC/NPCに対する旅費補助について、自国通貨 (円)での計算とするよう文言修正

➤ **今後の流れ**

- IOCと正式レターの取り交わし
- 組織委員会ホームページにて、2016年版を公表

パラリンピック2年前カウントダウンイベント

主催：東京都／公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会



- 日時： 2018年8月25日 11:00～19:00
- 実施場所：メガウェブ（江東区青海）
- 来場者数： 約43,000人
- 会場関連自治体ブース出展：
 - 千葉県/千葉市/一宮町、静岡県/伊豆市/小山町
- パートナーブース出展： 17社
- 全国ライトアップ： 全国14箇所

- メディアの取り上げ（9月27日時点）：
 - ・取材社数 59社 テレビ/新聞/ウェブなどの合計
 - ※会場キャパシティの都合で、各社1台にカメラ数を制限
 - ・取り上げ
 - テレビ 25番組 新聞 102紙 Web 420件

アスリート等フォトセッション



フラワーオブジェ



カウントダウンセレモニー時の会場の様子



パートナー企業等によるコンテンツ



「スリーアギトス」を彩った花壇



ライトアップ連携@臨海副都心エリア





TOPパートナー及び東京2020スポンサー

2018年10月23日

7

TOPパートナー(平成30年10月23日時点)

	パートナー	カテゴリー
1	コカ・コーラ	ノンアルコール飲料
2	アリババ	クラウド・インフラストラクチャー/クラウド・サービス/Eコマース・プラットフォーム・サービス
3	アトス	インフォメーションテクノロジー
4	株式会社 ブリヂストン	タイヤ/タイヤ・自動車サービス/自転車(電動・モーターアシスト除く)/ 免震ゴム・樹脂配管システム等の化工品
5	ダウ・ケミカル	化学品及び原料
6	GE	発電・送配電システム/医療用画像診断・情報システム/照明機器およびシステム/ 輸送管理システム/鉄道輸送システム/航空機エンジン/オイル&ガス設備/水処理システム
7	インテル	プロセッサー/シリコンプラットフォーム/ドローン(パブリックセーフティ目的のドローンを除く)
8	オメガ	時計(例:腕時計、置時計、公式カウントダウンクロック)/計時システム・サービス/ 電子計時/計測/スコアボードシステム・サービス
9	パナソニック 株式会社	テレビ/PC/放送用・プロ用を含む音響・映像機器/AV記録メディア/カーナビゲーションシステム/ 関連のカーエンターテインメント機器/AVセキュリティ関連機器/白物家電/電動自転車
10	P&G	パーソナルケア/家事製品
11	サムスン	ワイヤレスコミュニケーション機器/タブレット及びその周辺機器/携帯電話
12	トヨタ自動車 株式会社	モビリティ(車両、モビリティサービス、モビリティサポートロボット)
13	ビザ	決済システム

※上記は全て、日本国内のカテゴリー

東京2020スポンサー
(平成30年10月23日時点)

○ゴールドパートナー

	発表日	企業名	カテゴリー
1	平成27年1月26日(月)	日本電信電話株式会社(NTT)	通信サービス
2	1月27日(火)	アサヒビール株式会社	ビール&ワイン
3	2月18日(水)	キヤノン株式会社	スチルカメラおよびデスクトップ・プリンター
4	2月19日(木)	日本電気株式会社(NEC)	パブリックセーフティ先進製品(生体認証、行動検知・解析、ドローン)、ネットワーク製品(SDN、有線ネットワーク、無線ネットワーク)
5	2月19日(木)	富士通株式会社	データセンターハードウェア
6	3月18日(水)	JXTGエネルギー株式会社	石油、ガス、電気供給
7	3月20日(金)	東京海上日動火災保険株式会社	損害保険
8	3月20日(金)	日本生命保険相互会社	生命保険
9	3月25日(水)	野村ホールディングス株式会社	証券
10	4月6日(月)	株式会社アシックス	スポーツ用品(スポーツアパレル及び競技用具)
11	4月14日(火)	株式会社みずほフィナンシャルグループ	銀行
12	4月14日(火)	株式会社三井住友フィナンシャルグループ	銀行
13	4月20日(月)	三井不動産株式会社	不動産開発
14	10月16日(金)	株式会社明治	乳製品、菓子
15	11月26日(木)	株式会社LIXIL	住宅設備部材及び水回り備品

東京2020スポンサー
(平成30年10月23日時点)

○パラリンピックゴールドパートナー

IOCと契約するオリンピックTOPパートナーのうち、東京2020パラリンピック競技大会の権利を取得しているパートナー

	発表日	企業名	カテゴリー
1	※	アトス	インフォメーションテクノロジー
2	※	オメガ	時計(例:腕時計、置時計、公式カウントダウンクロック)、計時システム・サービス、電子計時、計測、スコアボードシステム・サービス
3	平成28年3月10日(木)	株式会社ブリヂストン	タイヤ、タイヤ・自動車サービス、自転車(電動・モーターアシスト除く)、免震ゴム・樹脂配管システム等の化工品
4	平成28年8月25日(木)	パナソニック株式会社	テレビ、PC、放送用・プロ用を含む音響・映像機器、AV記録メディア、カーナビゲーションシステム、関連のカーエンターテインメント機器、AVセキュリティ関連機器、白物家電、電動自転車、福祉関連商品(福祉用バスルーム、福祉用洗面台、Theシャワー、福祉用ホームエレベーター)、パワーアシストスーツ
5	平成29年6月12日(月)	トヨタ自動車株式会社	モビリティ(車両、モビリティサービス、モビリティサポートロボット)、リハビリテーションロボット、ウェアブルロボット
6	平成30年8月24日(金)	P&G	パーソナルケア及びハウスホールドケア製品

※アトス、オメガは、マーケティングプラン契約(東京2020とIOCの間で2014年11月14日に締結)において、東京パラリンピック競技大会の権利を付与されることが定められている

東京2020スポンサー
(平成30年10月23日時点)

○オフィシャルパートナー (1/2)

	発表日	企業名	カテゴリー
1	平成27年6月15日(月)	全日本空輸株式会社	旅客航空輸送サービス
2	6月15日(月)	日本航空株式会社	旅客航空輸送サービス
3	7月27日(月)	東京ガス株式会社	ガス・ガス公共サービス
4	8月10日(月)	ヤマトホールディングス株式会社	荷物輸送サービス
5	8月20日(木)	日本郵政株式会社	郵便
6	10月20日(火)	セコム株式会社	セキュリティサービス&プランニング
7	10月20日(火)	総合警備保障株式会社	セキュリティサービス&プランニング
8	平成28年1月22日(金)	株式会社読売新聞東京本社	新聞
9	1月22日(金)	株式会社朝日新聞社	新聞
10	1月22日(金)	株式会社日本経済新聞社	新聞
11	1月22日(金)	株式会社毎日新聞社	新聞
12	2月24日(水)	TOTO株式会社	水回り備品
13	2月29日(月)	三菱電機株式会社	エレベーター、エスカレーター、 ムービングウォーク
14	3月28日(月)	味の素株式会社	調味料、乾燥スープ、アミノ酸ベース顆粒、 冷凍食品
15	3月31日(木)	KNT-CTホールディングス株式会社	旅行業務およびナショナルトリップホスピタリ ティサービス

東京2020スポンサー
(平成30年10月23日時点)

○オフィシャルパートナー (2/2)

	発表日	企業名	カテゴリー
16	平成28年3月31日(木)	株式会社JTB	旅行業務およびナショナルトリップホスピタリ ティサービス
17	3月31日(木)	東武トップツアーズ株式会社	旅行業務およびナショナルトリップホスピタリ ティサービス
18	4月15日(金)	キッコーマン株式会社	ソース(しょうゆ含む)、酢、みりん、料理酒
19	4月27日(水)	株式会社エアウィーブ	寝具
20	6月7日(火)	東京地下鉄株式会社	旅客鉄道輸送サービス
21	6月7日(火)	東日本旅客鉄道株式会社	旅客鉄道輸送サービス
22	6月9日(木)	シスコシステムズ合同会社	ネットワーク製品
23	6月23日(木)	日清食品ホールディングス株式会社	カップ麺、袋麺、チルド麺、冷凍麺
24	7月5日(火)	イー・エフ・エデュケーション・ ファースト・ジャパン株式会社	語学トレーニング
25	7月29日(金)	大和ハウス工業株式会社	施設建設 & 住宅開発
26	10月31日(月)	大日本印刷株式会社	印刷サービス
27	10月31日(月)	凸版印刷株式会社	印刷サービス
28	平成29年5月30日(火)	株式会社リクルート	人材サービス & オンライン学習及び 教育サービス
29	10月27日(金)	アース製薬株式会社	家庭用殺虫剤、虫よけ、肥料、培養土及び 除草剤
30	平成30年2月6日(火)	久光製薬株式会社	外用鎮痛消炎剤

東京2020スポンサー
(平成30年10月23日時点)

○オフィシャルサポーター

	発表日	企業名	カテゴリー
1	平成30年1月1日(祝)	株式会社産業経済新聞社	新聞
2	1月1日(祝)	株式会社北海道新聞社	新聞
3	1月17日(水)	株式会社パソナグループ	人材サービス
4	4月13日(金)	丸大食品株式会社	ハム、ソーセージ、ウインナー、ベーコン、魚肉ソーセージ、かまぼこ、ローストポーク、スペアリブ
5	6月4日(月)	株式会社乃村工藝社	内部空間・展示空間のデザイン、設計、施工
6	8月3日(金)	パーク24株式会社	駐車場サービス
7	8月30日(木)	コクヨ株式会社	オフィス家具 & 文具
8	10月3日(水)	株式会社ECC	オフライン語学トレーニングサービス
9	10月11日(木)	株式会社AOKIホールディングス	ビジネス&フォーマルウェア
10	10月17日(水)	清水建設株式会社	施設建設・土木